**研究成果展開事業**

**研究成果最適展開支援プログラム**

**A-STEP**

**2025年度**

# 産学共同 ステージⅡ（本格フェーズ）共同研究に関する届出書

**研究成果展開事業　研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）**

**産学共同 ステージⅡ（本格フェーズ）**

**－共同研究に関する届出書作成要項－**

2025年3月

国立研究開発法人科学技術振興機構

スタートアップ・技術移転推進部

研究支援グループ

**１．産学共同ステージⅡ（本格フェーズ）における共同研究の実施と届出書について**

A-STEP産学共同ステージⅡ（本格フェーズ）（以下「本格フェーズ」といいます。）では、大学等と企業等からなる産学共同研究チームとして提案いただく課題について、チームの参画機関である大学等と企業等が、中核技術の構築に資する成果の創出と、その成果を大学等から企業等へ技術移転することを目的として、共同研究に取り組んでいただくことが求められます。

企業等は、代表機関である大学等がとりまとめるJSTからの各種依頼（※1）や公募要領で定める事項に対応いただくようお願いします。

（※1自己資金の拠出実績や企業等での研究開発実施内容の報告、事前・中間・事後評価会への対応や終了後の追跡調査、知的財産権や成果公表の対応、研究倫理への対応等）

応募申請にあたり、代表機関である大学等と企業等の連名で、「共同研究に関する届出書」（以下「届出書」といいます。）を提出いただきます。

**２．届出書作成時の注意点**

1. 届出書作成にあたっては、必要に応じて、各参画機関のTLOや知的財産担当部署等とも相談しながら作成を進めてください。
2. 共同研究における企業等からの自己資金拠出予定額に関しては、企業等が実際に拠出を予定している金額を記載してください。企業等は採択後、自己資金の拠出実績を代表機関に毎年度自己申告し、代表機関はその額とマッチング指数を、JST指定の様式にてJSTに報告いただきます。計上可能な経費については、公募要領の「6.3.4 マッチングファンド形式における企業等の参画に係る留意事項について（本格フェーズのみ）」をご確認ください。
3. 本格フェーズでは、JSTは企業等と委託研究契約を締結致しません。契約方式・名称は問いませんが、全ての参画機関の間で共同研究契約等を、その他関係する当事者間で必要な契約を締結してください。作成にあたっては、文部科学省の「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン（※2）」を活用するとともに、以下の点にご留意ください。なお、共同研究契約等は応募時点で締結できていなくとも、応募自体は可能です。

（※2 <https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/sangaku/mext_00778.html>）

・契約には、JSTの「研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）」によって共同で課題が実施されることが判るように記載してください。

・契約内容は、JSTと大学等との間で締結する委託研究契約と整合するよう留意してください。

・共同研究の実施内容は、JST指定の様式にてJSTに毎年度報告いただきます。

・締結した共同研究契約等に関する写しの提出は不要ですが、必要に応じJSTから内容の確認等をさせていただくことがあります。

1. ひとつの共同研究に複数の企業等が参画する場合は、企業毎にそれぞれ届出書を作成してください。
2. 提出いただく届出書の署名者は、代表機関の大学等については研究責任者とし、企業等については本事業において参画機関の間で締結する共同研究契約等の署名者と揃えてください。

**3．届出書等の取扱いについて**

提出いただいた届出書及び届出書に基づく報告等の内容（以下「届出書等の内容」といいます。）は、本事業の目的達成にふさわしい課題を採択するための審査、採択後における評価、研究開発の進捗状況管理や推進のために利用します。また、本事業の改善に資するため、届出書等の内容を集計し、機構及び関係府省内において、本事業の効果を確認するための指標として用いる場合があります。課題の採択・不採択にかかわらず、届出書等の内容については公募要領「7.37 応募情報及び個人情報の取扱い」に準じて取り扱うものとし、一切公表しません。

国立研究開発法人科学技術振興機構　御中

研究成果展開事業　研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）
産学共同 ステージⅡ（本格フェーズ）
共同研究に関する届出書

〇〇○大学（代表機関）（以下「代表機関」といいます。）及び△△△株式会社（以下「本企業」といいます。）は、国立研究開発法人科学技術振興機構（以下「機構」といいます。）が実施する研究成果展開事業　研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）　産学共同　ステージⅡ（本格フェーズ）（以下「本格フェーズ」といいます。）への申請にあたり、下記のとおり届け出ます（以下「本届出書」といいます。）。

記

１　本格フェーズにおいて実施を予定する共同研究（以下「本研究開発課題」といいます。）の内容は以下のとおりです。

＜本研究開発課題の内容＞

1. 課題名： 「○○○○の研究開発」
2. 共同研究の期間： 20●●年●月●日～20●●年●月●日
3. 共同研究における企業等からの自己資金拠出予定額：別紙記載のとおり。
4. 共同研究における大学等及び企業等の実施内容・体制：課題提案書のとおり。

２　代表機関及び本企業は、申請にあたり以下の事項を誓約いたします。

1. 本格フェーズの目的は、社会課題解決等に向けて、大学等の基礎研究成果（技術シーズ）を、大学等と企業等の共同研究により実用化に向けた可能性を検証し、中核技術の構築に資する成果の創出と、その成果を大学等から企業等へ技術移転すること（以下「本目的」といいます。）であることを十分理解し、本目的の実現に向けて、本研究開発課題を実施すること。
2. 本格フェーズに係る「研究成果展開事業　研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）2025年度公募要領」を理解していること。
3. 本研究開発課題を円滑に実施し、本目的を実現するために、全ての参画機関の間で共同研究契約等を、その他関係する当事者間で必要な契約を採択年度内に締結すること。
4. 本届出書の記載内容は真実かつ正確であること。
5. 本研究開発課題に関する研究開発実績及び企業からの自己資金拠出実績を機構に報告するとともに、機構による評価会、調査その他の依頼等に対応すること。

2025年●月●日

|  |  |
| --- | --- |
| 住所大学名（代表機関）　国立大学法人○〇〇大学役職　　〇〇　〇〇氏名（研究責任者） | 住所企業名役職氏名 |

（別紙）　共同研究における企業等からの自己資金拠出予定額

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 20●●年度 | 20●●年度 | 20●●年度 | 20●●年度 | 20●●年度 | 合計 |
| A.大学等へのJST委託費 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| B.初年度からのA.累計額 | （初年度）千円 | （初年度＋2年度目）千円 | （初年度～3年度目合計）千円 | （初年度～4年度目合計）千円 | （初年度～5年度目合計）千円 |  |
| C.企業等からの自己資金 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| D.初年度からのC.累計額 | （初年度）千円 | （初年度＋2年度目）千円 | （初年度～3年度目合計）千円 | （初年度～4年度目合計）千円 | （初年度～5年度目合計）千円 |  |
| マッチング指数（D÷B） |  |  |  |  |  |  |